

若葉のしらべ



学校教育目標：「心豊かで 主体的に学ぶ子どもの育成」

めざす子ども：はつらつとした笑顔とあいさつ あり抜く粘り強さとあたたかい心 まわりの人と考え合い高め合う
ひと自分も大切にす りやく・友だち・地域もだいすき しやかいで生きる力を伸ばす わかばっ子

託された思い

校長 好士崎 壯

5年生の国語の教科書に「たずねびと」という物語が掲載されています。

楠木綾は、駅に貼られた「原爆供養塔納骨名簿」というポスターに、自分と同じ名前が書かれているのを見つけた。これをきっかけに、綾は兄とともに広島市まで出かけ、自分と同年代の多くの子どもたちが原爆の犠牲となり、夢や希望をかなえられないまま亡くなっていたことを知る。

そして、平和公園で出会ったおばあさんと話す中で、亡くなった方のことを自分たちが知り、忘れずにいることが、大切なものにつながっていくのではないかと考える。

ここに出てくるおばあさんは、佐伯敏子さんという実在の人物をモデルにされています。自らも広島で被爆され、投下直後に家族を探し回った時の体験などを多くの人に伝え、長年「原爆供養塔」の清掃などもされていました。残念ながら、2017年に亡くなりました。

私は、何度か直接お話をさせていただく機会がありました。また、修学旅行で子どもたちに話をさせていただいたこともあります。とてもいそがしくされていたのですが、急に訪ねて行った私たちにも、いつもきちんと向き合って話をしてくださいました。

- ・原爆の被害のひどさや悲惨さだけではない。その中で、人々が力を合わせて、助け合って、踏ん張って、どうやって今まで平和を築いてきたのか。その力強さを知ってほしい。
- ・「ヒロシマに歳はないんよ。」昔のことにしてはいけない。事実には歳をとらせてはいけない。
- ・今、それぞれに違うことで、しんどい思いをしている子どもたちはたくさんいるだろう。その子たちにも、未来を強く生きてほしい。それを感じてほしい。

※「ヒロシマに歳はないんよ」は佐伯さんの思いを凝縮した言葉で、このタイトルの歌や本も出されています。

そんな中で一度、手を取って目を見ながら、しかし厳しい口調で言われた言葉があります。

- ・子どもたちに伝えたい。今、学校にはいろいろな事情がある子どもがいる。けれど、修学旅行には、何とかしてあなたの学校の子どもを全員連れてきてほしい。
- ・ヒロシマで起きた事実とその意味を伝えたい。でも、本当は、あなたがきちんと子どもたちに伝えることができれば、私が話をしなくてよいはず。あなたたちには、もっともっと、ちゃんと勉強してほしい。

後から知人を通じて聞いたところでは、この頃、佐伯さんは体調がかなり悪くなり始めていらしたそうです。「事実と思いを、あなたが受け継いでほしい。そして、次の世代につないでほしい。」託された思いが伝わってきて、今も忘れることができない言葉です。

今年度、本校では3年ぶりに広島方面に修学旅行に出かけます。思いを一方向的に伝えるのではなく、佐伯さんの言葉にあったように、未来を強く生きていけるようにするにはどうすればよいかを、子どもたちとともに考えたいと思っています。平和教育の面だけでなく、6年間の全ての学習を活かし、意義のあるものにしていきたいと考えています。



9月の主な予定



日	月	火	水	木	金	土
8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	1 前期後半スタート 特別日課 4 校時 授業 (12:00 下校)	2
3	4 給食開始 クラブ⑥ 教育実習 (~9/15)	5 民生委員・主任 児童委員学習参 観	6	7 交流指導 くりちゃんチャレ ンジ	8	9
10	11 委員会⑥	12	13	14 交流指導	15 わかば相談	16
17	18 敬老の日	19 人権の日 (さわ東タイム)	20	21 交流指導 3年校外学習 (中消防署 ・Panasonic草 津工場)	22	23 秋分の日 校庭整備 ※1
24 校庭整備 (予備日)	25 委員会⑥	26 諸費振替日	27	28 交流指導	29	30

※1 PTA 校庭整備(5、6年生児童と保護者) 8:30~10:00予定

持ち物:名札・軍手・草を引く道具・水筒・帽子・汗ふきタオル・ビニール袋(参加者1人につき1枚)

熱中症対策について

まだまだ暑い日が続きます。今月より、運動会の練習も始まります。

学校では、熱中症対策として次のように取り組み、子どもたちにも指導しています。

① 体育学習と休み時間の外遊びについて

1日に2回気温と湿度を測って、暑さ指数(WBGT)を算出し、運動場と体育館での体育科の学習や休み時間の外遊びができるかどうかを判断します。

② 登下校時の暑さ対策として

- ・日傘やネッククーラー(保冷タオル)を活用してもよい。 ・黄帽は必ずかぶる。
- ・帰り道もこまめに水分補給する。 ・寄り道をせず、速やかに下校する。

ご家庭でも、お子様の様子を見て、水分を多めに持たせる、ネッククーラーを首に巻くなどの対策をしていただきますよう、お願いします。(運動会までは、スポーツドリンクをお茶や水とともに持たせていただいてもかまいません。)